



『北の森の達人』

読者の皆様へ
北海道立林業試験場メールマガジン『北の森の達人』は、北海道の森林・林業・身近なみどりに関わる情報を皆様に直接お届けするメールマガジンです。



目次

■刊行物ダイジェスト	光珠内季報 No. 131 グリーンメール No. 9
■ホームページの紹介	試験研究・普及指導推進方向
■森林Q & Aで解決!	ハマナス・バラ特集
■今日の達人のささやき	緑化樹センター生産技術科長 八坂通泰

■刊行物ダイジェスト1 光珠内季報 No. 131 (2003. 6発行)

◇バットの木をタネから育てる (林業経営部 滝谷美香)
プロ野球用のバットになるアオダモについて、タネの発芽特性と、苗木の成長について調べました。その結果、健全なタネの83%が発芽することがわかりました。またタネを春に播く場合、低温で湿潤な環境で保存すると、早い時期に発芽することがわかりました。苗木の高さは1年で平均7cmになります。

◇潮風がはこぶ塩分をはかる (森林環境部 長坂 有)
海から海岸林にもたらされる飛来塩分量を推定するため、簡易な装置である糸トラップの性能を調査しました。その結果、ある場所の飛来塩分環境を調べるには、海風の日を選んで1~2日間トラップを設置するのが有効であることがわかりました。

◇組織培養による緑化樹生産への取り組み (緑化樹センター 佐藤孝夫)
北海道立林業試験場では1985年から組織培養による緑化樹の生産に取り組んでおり、これまでサクラ類やナナカマド、シラカンバなどで大量増殖に成功しています。この技術は民間にも移転され、実際にサクラ類の増殖が行われています。現在までのところ組織培養による増殖に成功した樹種は15種あり、そのほか9樹種については発根試験中です。今後もいろいろな樹種で培養技術の確立を目指すとともに、この技術の普及に努めていきます。

◇森林認証は受け入れられるか 一道内の消費者・森林所有者意識から考える (林業経営部 酒井明香)
FSC(森林管理協議会)の森林認証を受けた製品を条件付で購入したいという道内の消費者は68%に上り、下川町内でのFSCを活用した取り組みに期待するという森林所有者は70%に上りました。しかし、認証の意義の普及啓発、潜在需要の顕在化など今後の課題は多いです。

<-刊行物詳細情報->
<http://www.fri.hro.or.jp/kanko/kiho/kiho13.htm>

■刊行物ダイジェスト2 グリーンメール No. 9 (2003. 6発行)

◇新しいハマナスの仲間
一品種登録出願中の4品種一

- ◆プリティージェイン：ハマナスの品種であるヤエハマナスに、道南地方に自生するノイバラを交配した園芸品種です。開花時期は6月中旬~7月上旬で、花はハマナスより小振りの八重咲き、花弁には白い筋状の模様があります。樹高はあまり高くなり、トゲはハマナスより少なく、樹形は横に広がります。
- ◆ノーストピア：北海道に自生するヤマハマナスに、道南地方に自生するノイバラを交配した園芸品種です。開花時期は6月中旬~7月上旬で、花は房状につき、花弁には白とピンクのグラデーション模様があります。ハマナスに比べトゲが少なく、成長が非常に良く、樹形はやや横に広がります。
- ◆北彩(きたあやか)：ヨーロッパ原産のルブリフォリアバラに、ハマナスを交配した園芸品種です。開花時期は6月下旬~7月上旬で、花はハマナスより小振り、花弁の中心部に白い模様があります。ハマナスに比べ成長が良く、枝や葉の色が赤味を帯びていて、樹形はやや横に広がります。

◆コンサレッド：北海道に自生するヤマハマナスに、ヨーロッパ原産のルブリフォリアバラを交配した園芸品種です。開花時期は6月中旬～7月上旬で、花はハマナスより小振りで、やや色の濃い花をたくさんつけます。ハマナスと比べると、トゲが少なく、成長が良く、樹形は直立します。

<-刊行物詳細情報->

<http://www.fri.hro.or.jp/kanko/kitam/kitamindex.htm>

■ホームページの紹介・・・試験研究・普及指導推進方向

北海道立林業試験場では、近年の地球温暖化の進行や生物多様性の低下などの環境問題を視野に入れつつ、森林の多様な機能に応じた森林の整備及び保全などを図る試験研究を重点的に推進し、時代の変化に即応した森林・林業・身近なみどりの試験研究・普及指導の総合センターとしての役割を果たしていくため、平成15年3月に「試験研究・普及指導推進方向」を策定しました。

内容は、次のとおりです。

- ◇「試験研究・普及指導推進方向」策定の背景：森林・みどりづくりに関する施策の動向、試験研究を取り巻く状況
- ◇林業試験場における現状と課題：森林の多様な機能に応じた森林の整備及び保全の推進、林業の健全な発展を通じた森林資源の循環利用の促進、身近なみどり環境の充実や緑化樹関連産業の振興、森林づくりに対する道民の理解及び参加の促進
- ◇試験研究・普及指導の基本方向及び体系：基本方向の考え方、概要、体系化、体系の概要
- ◇試験研究などの推進体制：道民ニーズに即応できる柔軟な組織体制の整備、道民ニーズを反映した森林・みどりづくりに関する技術開発などの推進体制の整備、効率的・効果的な試験研究と普及指導の推進体制の整備、試験研究・普及指導の総合センターとしての役割に応えられる体制の整備

<-試験研究・普及指導推進方向詳細情報->

<http://www.fri.hro.or.jp/news/sfdir.htm>

■森林Q&Aで解決！・・・ハマナス・バラ特集

【Q1】ハマナスの葉の色が悪くなり、葉の裏にオレンジ色の粉がついている。病気か？

【A1】「さび病」と思われます。葉のほかに、葉柄、果実、伸長中の当年枝にも発生し、いずれも患部からはオレンジ色の粉（病原菌の胞子）が吹き出します。秋になるとオレンジ色の胞子は消失し、患部はチョコレート色の粉（病原菌の別の胞子）で覆われます。「さび病」は、ハマナスにふつうに発生しますが、枝や株を枯らすことはありませんので放置しておいても大丈夫でしょう。ただ、毎年、激しく発生するようであれば、株が衰弱する可能性があります。チョコレート色の胞子を形成した罹病葉が翌年の感染原になるので、病落葉をていねいに集めて焼却すれば翌年の発生は減るでしょう。

【Q2】ハマナスの葉裏に8月に丸いこぶがたくさんついているのを見つけたが、何か？

【A2】ハマナスタマバチという虫が原因でできる虫こぶです。その中に幼虫が入っています。成虫は5月下旬～6月上旬に発生し、葉に卵を産みつけます。孵化した幼虫は虫こぶの中で成長します。虫こぶは9月下旬に落下し、その中で幼虫は越冬します。被害により木が衰弱するようなことはありませんが、気になるときは虫こぶを取り除きます。秋に落下した虫こぶを集めて処理するのもよいでしょう。

【Q3】ルブリフォリアバラの樹種特性を知りたい。

【A3】ヨーロッパ中南部の高原に自生する低木です。花は6月に開花し、鮮紅色をしています。花の大きさは5cmほどです。葉は長さ2～3.5cmほどの小さな葉が7～9枚集まって1枚の大きな葉を作っています。色はやや紅色を帯びた青緑色をしているのが特徴です。道内では各地に植えられています。

【Q4】海岸緑化でハマナスを植えるときには、どんな点に注意すると良いのか？

【A4】

◇植栽の時期：葉が開く前に植栽することが大切です。開葉してから植栽すると、植栽後はすぐに根から水分を吸収することはできないので、葉から水分が蒸散するため乾燥害を受けてしまいます。

◇施肥の仕方：肥料は直接根にふれてはいけません。植え穴は大きく掘り、肥料を入れてからその上に周囲の土を入れ、その上に苗を植えます。

◇マルチングのすすめ：活着して勢いがあれば草に負けませんが、植栽直後の樹姿の弱い苗木では、草に負けてしまいますので、草よけと乾燥防止をかねて覆いワラなどでマルチングすることをおすすめします。

また、海岸の風が強い場所では、風によって土壌が飛散する場合がありますので、これもマルチで防ぐことができます。

◇良いポット苗：ポット苗は、ポット内でしっかりと根を張っていることが大事です。根の張りぐあいを調べるためには、ためしにポットをはずしてみるとよいでしょう。

◇地元産がよい：使用する苗木は、地元産のハマナスを用います。園芸品種のハマナスは塩風に弱く、枯れる事例もみられます。

【Q5】塩風に強いはずのハマナスに塩風害が出た。なぜ？

【A5】北海道の海岸に自生しているハマナスは塩風に強いものです。しかし最近では、花の美しい園芸用の品種が開発され、なかには塩風に耐性の低いものもあります。海岸に植栽する場合は、園芸用の品種は避けるべきです。

<-森林Q & A詳細情報->

<http://www.fri.hro.or.jp/q&a/index.htm>

■今日の達人のささやき

緑化樹センター生産技術科の八坂です。林業試験場では、北海道の花であるハマナスをはじめとしたバラ属の交配により、新しい緑化樹を開発しました。現在、4品種（プリティーシャイン、ノーストピア、北彩、コンサレッド）を農林水産省へ品種登録の出願を行っています。これらの品種が市場へ出回るまでには、まだ数年かかりますが、園芸店などで我々の開発した新しい品種を見かけたときには、是非、ご利用下さい。

////////////////////////////////////

■発行・編集

北海道立林業試験場
〒079-0198 北海道美唄市光珠内町東山

■問い合わせ担当

企画指導部森林情報室情報管理科
メールマガジン専用電子メール mmgadmin@hfri.pref.hokkaido.jp

■記事の取り扱い

北海道立林業試験場メールマガジンに掲載された記事を転載することはご遠慮ください。

////////////////////////////////////